

No.2018-22

米国投資家が海外証券を大幅売り越し

2018年4～6月期の売り越し額は四半期ベースでは過去最高

- ✓ 米財務省の国際証券投資統計によると、2018年4～6月期の米国投資家の海外証券投資は1,057億米ドルの売り越しとなる。1977年の統計開始以来、四半期ベースでは過去最大の売り越し。
- ✓ 同期間の米国投資家の新興国証券投資も売り越しとなったが、金額は2017年10～12月期の4分の1程度。新興国から米国への資金流出の加速は、2018年4～6月期時点では認められない。

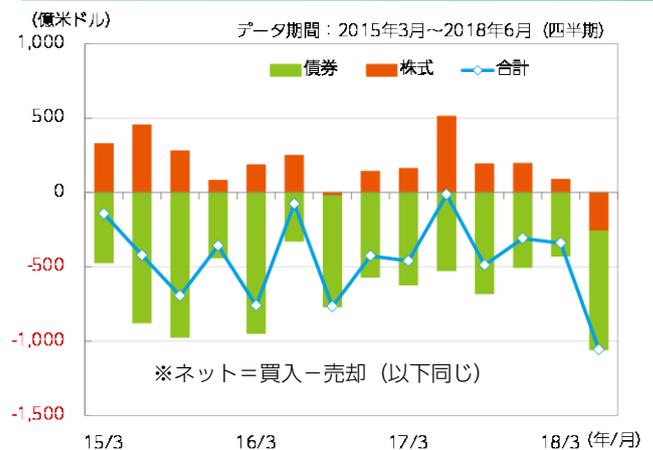
- 8月15日に米財務省より発表された国際証券投資統計（TICデータ）によると、2018年4～6月期の米国投資家の海外証券投資（株式と債券合計、以下同じ）は1,057億米ドル（約11.7兆円）（株式257億米ドル、債券799億米ドル）の売り越しとなりました（新興国含む）。四半期ベースの売り越し額としては、1977年の統計開始以降で過去最大です。
- 5月に米10年国債金利が一時約7年ぶりとなる3.1%台に上昇したことや、6月にトランプ米大統領が中国からの輸入品500億米ドルに対し25%の追加関税を課すことを発表したこと等を背景に、米国投資家が海外からの資金回収を急いだ可能性があります。

- 2018年4～6月期の米国投資家の新興国*証券投資は20億米ドル（約2,200億円）の売り越しとなりました。債券を35億米ドル売り越す一方、株式は15億米ドル買い越しました。株式の買い越しは12四半期（3年）連続となっています。
- 米金利上昇により新興国から米国への資金流出が速まるとの懸念もありますが、2018年4～6月期の米国投資家の売り越し額は直近ピークである2017年10～12月期の4分の1程度に留まっています。

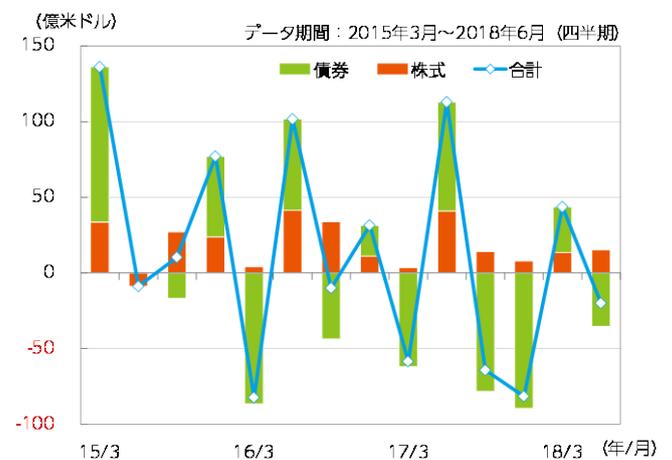
*ブラジル、ロシア、インド、中国、マレーシア、インドネシア、タイ、トルコ、メキシコ、南アフリカの合計

- 2018年4～6月期の海外投資家の米国証券投資は26億米ドル（約2,900億円）の売り越しとなりました。売り越しは2016年10～12月期以来6四半期ぶりです。
- 債券を450億米ドル買い越す一方、株式は476億米ドル売り越しました。株式の売り越し額は過去最高です。米中貿易摩擦の悪化懸念等を背景に株式の持ち高を調整したものとされます。

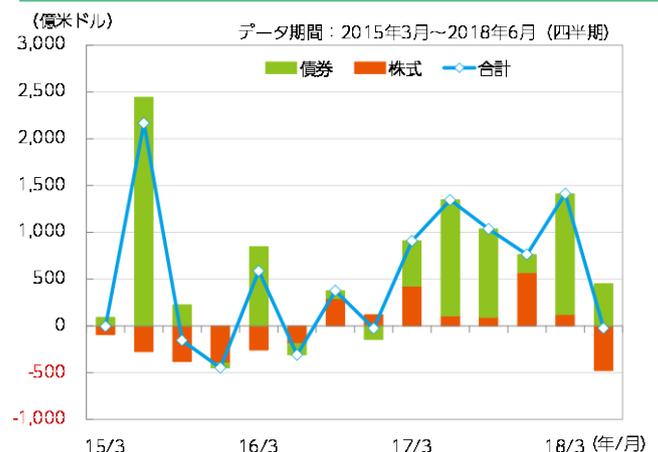
図表1：米国投資家の海外証券投資（ネット）



図表2：米国投資家の新興国証券投資（ネット）



図表3：海外投資家の米国証券投資（ネット）



(2018年8月20日～8月24日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

- 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。トルコ情勢に対する先行き不透明感や、軟調な中国株が投資家心理を冷やし週初は下落してスタートしました。その後は、外国為替市場で円安米ドル高が進行したことや米株式市場の上昇を受け週末まで4日続伸となりました。（週末引け値：22,601.77円）
- 週間では、日経平均株価は1.49%の上昇、東証株価指数は0.69%の上昇でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

- 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で小幅に上昇となりました。週を通じて持ち高調整と、日経平均株価の上昇を受けた債券の売りが続きました（価格は低下）。（週末引け値：0.101%）
- 週間では、0.003%の上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。米中貿易摩擦の緩和期待から前週から引き続き上昇してスタートしました。週中に米中両国が互いに追加関税を発動したことを受け、一時下落する場面もあったものの週末は堅調な経済指標を受け前日比で上昇となりました。（週末引け値：25,790.35ドル）
- 週間ではNYダウは0.47%の上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週末比で小幅に円安米ドル高となりました。トランプ米大統領がトルコへの追加制裁の可能性を示したのを受けて、投資家のリスク回避姿勢の高まりから週初は円買いが優勢となりました。その後は週末まで日経平均株価の上昇に歩調を合わせた円売りドル買いが優勢となりました。（週末引け値：111円20銭～30銭）
- 週間では米ドル/円は0.67%の円安、ユーロ/円は2.29%の円安となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>